



政務活動費収支報告書

議員氏名：濱島 明人

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

項目	金額 (単位:円)	備考
調査研究費	0	
研修費	0	
広報費	57,200	はま島だより第17号印刷代
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	

3 残額 62,800 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
証拠書類等を添付する。

領収書等添付様式

令和 8 年 / 月 分

議員氏名：

整理 番号	使途項目 調査研究費・研修費・ <u>広報費</u> ・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・人件費・事務所費
----------	---

※ この様式には、原則として領収書 1 枚を貼付してください。

領 収 証

No. 020775

令和 8 年 / 月 8 日

濱島 明夫 様

●入金内訳明細

得意先コード

受注No	品 名	金 額
	濱島明夫(印刷)	13,200
	合 計	13,200

金 額	¥	13,200
-----	---	--------

上記金額正に受領致しました

内 訳	月 日	金 額
1.現金	/	
12.小切手	/	
2.振込	/	
3.手形	/	
5.相殺	/	
7.PP金券	1/8	13,200
6.値引額		

内 訳	金 額
10%対象	10,000
消費税	1,200
8%対象	
消費税	

5万円以上
印紙貼付
相殺分は不要



ヒューマン印刷に徹する

株式会社 種子島新生社印刷

代表取締役 岡崎 洋人

西之表市西之表16736-1 TEL(0997) 22-0476

登録番号 T9340002019260

【按分率及びその説明】

【備考】



はま島だより 新春号

(第17号)

西之表市議会議員 はましま明人



あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。

昨年は、米不足や米価高騰、備蓄米放出。また東北地方では、熊による被害が多発、政治の面では日本初の女性首相誕生。災害ではトカラ列島での群発地震や青森県の東方沖地震等と様々な事がありました。

本市においての大きな変化は、たね pay の運用開始、市営住宅鴨女町団地の建て替え工事開始、洲之崎地区の西之表港耐震強化岸壁工事開始。また、本市初の女性副市長が着任しました。昨年は大きな災害等もなくサトウキビも豊作と聞いています。

本市議会では、閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策に伴い、2億5千733万8千円の一般会計補正予算が可決し、一般会計予算総額161億331万円となりました。

【「強い経済」を実現する総合経済対策の予算での事業】

1. 物価高対応子育て応援手当支給事業

・物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子供たちのすこやかな成長を0歳～高校3年生までの子供に応援するため、1人あたり2万円を支給する。

2. 医療機関物価高騰対策支援事業

・水光熱費や医療資材等の物価高騰により、医療機関等は経営体制に影響を受けており、追加支援する。

3. 生活者支援事業

・電子地域通貨「たね pay」の引換券を送付し、申込者に対して「たね pay」1人あたり10000ポイントを付与する。
ポイント付与はR8年1月～3月予定
(詳細は市のホームページ・広報誌等をご覧ください)

4. プレミアム付電子商品券発行事業

【内容】1口5,000円購入で7,000円分のプレミアム商品券がたね Pay に入ります。お一人様購入上限20,000円で28,000円分の商品券としてお買い物ができます。

プレミアム率は40%です。

【有効期限】たね Pay プレミアム商品券の有効期限は令和8年2月28日までです。

【販売期間】令和7年12月20日(土曜日)～令和8年1月14日(水曜日)



【川迎地区の自衛隊宿舎について】

皆さまご存知のように、令和6年11月から宿舎工事がストップしています。市と防衛省の話では、工事再開に向け調整中との事です。市も防衛省も詳細については全く回答なし

《現在調整している大まかな内容》

- 1, 掘り起こされた廃棄物交じりの土の処理費をどうするか。(国か市どちらが負担するか)
- 2, 防衛省が独自で行いたい、試掘調査・土壌調査の費用をどうするか。

*試掘調査は地中に何が埋まっているかを調べ、土壌調査は、有害物質の汚染があるかを調べる

《上記の内容が整理された後、調整する内容》

・建物基礎工事や設置された物等の費用をどうするか

*市は、一般質問や馬毛島対策委員会で、防衛省が川迎の土地に宿舎を建てることを要望し調整していると回答しています。防衛省も市と何度も話し合いをし、馬毛島への出勤を考えると、本市に宿舎を建てたいと考えているのではないかと思います。

現場を確認しましたが。ブルーシートに覆われた大量の廃棄物交じりの土と基礎工事で行われた錆びた鉄骨をどうするのか。皆さまの貴重な税金を使わず解決できるか。また、防衛省が市外に宿舎を建設しないように市の対応を注視します、皆さまの意見要望を伝えてまいります。



シートに覆われた廃棄物交じりの土



錆びた鉄骨

【再編交付金事業の優先順位見直し】

旧上妻家住宅復元工事と住宅公開整備事業の施工管理業務費の約8800万円をR7 12月補正予算で減額。減額理由は、再編交付金の使い道の優先順位で、旧上妻家住宅の復元工事がR8年度は行わず再来年度以降(工事開始年度は未定)となったため、R7年度の工事が行えず減額。

来年度の当初予算で、旧上妻家住宅復元工事業の代わりに優先する事業予算が計上されると思います。現在、市は再編交付金の財源の割り振り作業を行っています。

(私の考え)

以前から私は再編交付金事業の優先順位がおかしいと言ってきました。文化財保存や改修事業は後回しで、先に、市民の皆さまの生活や仕事に直結する事業を優先的に行うべきと考え、市にも訴えてきました。12月議会の一般質問で、馬毛島基地(仮称)建設で一番影響を受けている漁業者や鮮魚店の方々のために、老朽化した漁業共同利用施設(セリ場・製氷庫・加工施設等)の更新を再編交付金で行うように訴えました。また、再編交付金基金事業の農道整備に関しても、測量設計また地権者の同意が得られている農道整備も早く進めるように要望しました。

【再編交付金基金事業の効果と市民の声】

- ・西之表市地域交通事業基金「地域巡回バスわかさ姫」「どんがタクシー」は令和5年10月から運賃無料開始。（*増加数は運賃無料前と無料後）



年度	R4	R5	R6	*増加数（R6年-R4年）
わかさ姫	10,214人	12,381人	16,553人	6,339人増加
どんがタクシー	13,646人	15,319人	17,857人	4,211人増加

- ・西之表市学校給食事業基金（令和5年から小中学校給食費無償開始）

令和7年度・小学生1人あたり年間給食費 **56,100円**・中学生1人あたり年間給食費 **66,000円**

現在の給食費は、再編交付金基金で賄われている為、保護者の負担はなし。保護者の声としては、物価高騰のため学用品が高いので、年間5～6万円の給食費の無償化は助かるとの声。また、習い事等に使えるので助かるとの声も。

【西之表市と三菱重工業株式会社宇宙事業部の包括連携協定締結について】

（締結日）令和7年12月15日

（締結の目的）

- ・本市と三菱重工業宇宙事業部が協働し、それぞれが有する人的、物的資源を有効に活用して、雇用や教育など人材育成にかかる、様々な分野で協力体制を図り、活力ある個性豊かな地域社会の実現と地域振興に寄与することを目的とする。

（取組み内容）

- （1）宇宙産業等への就業に関すること
- （2）本市児童・生徒の人材育成に関すること

①宇宙への関心を啓発する教育関連事項

- ・宇宙、科学教室、ロケット教室など、宇宙への関心や興味を啓発するイベント開催等

②次世代の種子島出身のロケット事業関係者の創出、育成



（協定締結までの経緯）

- ・三菱重工業株式会社宇宙事業部は、年間のロケット打ち上げの回数が増えることに伴い、種子島での宇宙事業の安定稼働を目的に、種子島在住の社員を増やそうとしているとの事。今年度より、種子島の高校（種子島高校1名、種子島中央高校1名）から、地元採用（種子島勤務）を開始しており、令和8年4月入社内定。高校生以外にも、島外からの定住を前提としたキャリア採用を進めていることから、包括連携協定の締結について協議を開始。

（私の考え）

- ・宇宙やロケットに興味のある小学生が「しおさい留学制度」を利用して本市の小学校へ入学したり、また移住定住につながるなど協定締結は色々な施策に結びつけて頂きたいと思います。

【奄美市議会と瀬戸内町議会意見交換会・奄美駐屯地瀬戸内分屯地視察】

(隊員数と児童生徒数)

- ・奄美駐屯地約420名、瀬戸内分屯地約210名の隊員が所属。奄美市では、自衛隊宿舎は駐屯地内も含め市内4か所があり、小中学生は3校区の小中学校に通学。人口減少により児童生徒数は減少傾向だが、自衛隊員の子供たちが入学したことで減少率は緩やかとの説明。瀬戸内町では、自衛隊宿舎は阿木名地区に2棟65戸。自衛隊家族が増えたことにより学校は1クラス増



奄美駐屯地

(住民と自衛隊員との交流)

- ・奄美市、瀬戸内町とも自衛隊と住民の交流活動は、スポーツ大会・伝統芸能や祭り、奉仕作業等多岐にわたり積極的に活動に参加し住民の信頼を得てきた。また、隊員の奥様は、仕事に従事し人材不足にも貢献しているとの事。隊員家族の中には、環境が良い奄美が気に入ったとの理由で離れたくないとの声も聞くとの事。

(交付金の活用)

- ・「防衛施設周辺民生安定助成事業」を活用しR5年度に奄美大島食肉センターを整備(総事業費10億9千万円中補助7億1千万円)
R9年度は、奄美市と近隣自治体で構成する漁業協同組合の荷捌き施設及び冷凍・冷蔵・製氷施設整備予定



(災害対応)

- ・令和5年6月20日からの大雨の影響により水源地の配管に土砂が流入したため、瀬戸内町約4000世帯に断水が発生。県知事からの災害派遣要請があり、21～22日給水支援。令和6年11月9日から大雨による災害支援活動実施。

(地元への恩恵)

- ・駐屯地内の食料や建物等の工事や駐屯地周辺の除草等に関しては、入札で業者を選定。島外の業者が受注しても離島の為、地元の業者へ人員や物品等の調達等は依頼するため、地元業者へも恩恵があり、地元経済の活性化に寄与。
食料の地産地消に努めているが、国の予算の為、同じ種類の食品の場合は安い方を選ぶので島外からの取り寄せも多いとの事。

(自衛隊との連携)

- ・瀬戸内町では、令和5年度から自衛隊OBの防災専門監を採用し、役場と自衛隊間の綿密な連携のパイプ役として大きく寄与。

(まとめ)

- ・奄美市、瀬戸内町とも自衛隊を誘致した経緯もあり自衛隊との関係は大変良好で、交流(スポーツ大会・祭り・伝統芸能等)も積極的に行われている。世界自然遺産の観光にも影響はなく、地域経済や児童生徒数増、災害時の支援等でも地元到大変貢献していると感じました。

本市においては、基地建設中だが、今後自衛隊とは良好な関係を築き、災害時の支援等にも期待したいと思います。(馬毛島先遣隊員で相撲で中種子町代表、また長距離走でも活躍と既に貢献している方もいます)